

本号では消化管形態系の専門家が、Crohn 病を中心とした華麗な写真を呈示して読者の目を楽しませてくれている。

不遜な言い方かもしれないが、これくらいの写真があれば診断基準(案)などどうでもよいと感じるのは筆者のみであろうか？

裏を返せばきちんとした写真が撮れる人は間違いなく診断できるということで、その逆の言い方をすればきちんと写真を撮れる人がいない施設では診断が難しいということになろう。

すなわち、世の中はいろんな人がいて成り立っている訳で、分子生物学や免疫学あるいは“内科学”に精通している人たちだけが“医師”ではな

い。汗水たらして腕を磨いている診断屋も必要なのである。もっとも、勉強もせず、病理材料との対比もない、ただ弁舌さわやかな“診断屋”では困るが…。

本論に話を戻すと、この号で明らかにされたのは敷石像についての定義またはイメージがそれぞれの著者あるいは施設で異なっているように思える。Crohn 病に特異的な“敷石像”の定義づけが必要かもしれない。

今後はいっそう明確な診断基準(案)作成のために編集委員会宛に多くの意見が寄せられると幸甚である。編集委員会にお願いして何らかの形で本誌に取り上げたいと考えている。

## 胃と腸

4月号(第31巻・第5号)予告

発売予定 4月25日  
定 価 2,060円(税込)

### 主題／表層拡大型早期胃癌

|      |                                                    |         |
|------|----------------------------------------------------|---------|
| 序 説  | 表層拡大型早期胃癌……………国立がんセンター東病院                          | 吉 田 茂 昭 |
| 主 題  | 表層拡大型早期胃癌の病理—肉眼像と組織像の対比を<br>中心に……………大阪府立成人病センター・病理 | 辻 直子・他  |
|      | 表層拡大型早期胃癌のX線および内視鏡的術前診断の検討……………癌研附属病院・内科           | 森田 秀祐・他 |
|      | 表層拡大型早期胃癌の臨床診断—隆起型の境界診断の問題点… 社会保険中央総合病院・消          | 浜田 勉・他  |
|      | 表層拡大型早期胃癌と進行癌のつながり……………国立がんセンター中央病院・内視鏡部           | 後藤田卓志・他 |
| 主題研究 | 未分化型胃癌の進展様式からみた表層拡大型早期胃癌……………滋賀医大・1病理              | 杉原 洋行・他 |
| 主題症例 | 広範に表層拡大したIIc型早期胃癌の1例……………慶應義塾大・放射線診断科              | 杉野 吉則・他 |
|      | 経過観察しえた表層拡大型早期胃癌の1例……………名古屋大・2内                    | 西村 賢司・他 |
|      | 広範な平坦型胃 villous tumor の1例……………松山日赤・消               | 綾部俊一郎・他 |
|      | 12×7.5 cm の広範に進展した陥凹型胃癌の1例……………藤田保健衛生大第2病院・内科      | 杉山 和久・他 |

### 胃と腸 (第31巻 第4号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1996年3月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 2,060円(本体 2,000円) (配送料 124円)

1996年年ぎめ予約購読料 28,000円(本体 27,184円)

(増刊号 4,120円を含む 13冊) (送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1996, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。
- **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>
- 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。

(担当)小松原・江口・竹中・長谷川